

# タンク型式の変更 : 地中タンク

- 大容量タンクと同様に、面積あたりの容量効率は大幅に向上せず、保管容量は増えない

## 設置工事期間

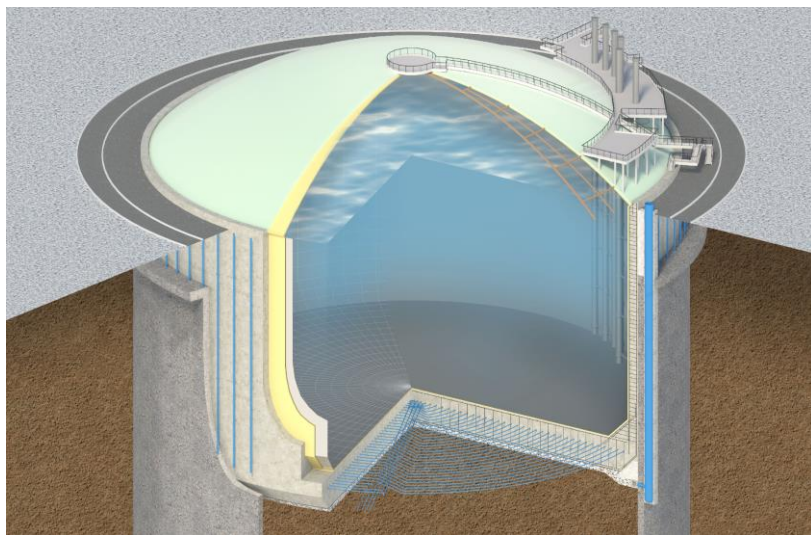
- 基礎工事及び原子力特有の検査を含め、**1基あたりの設置に約5年、設置後の漏えい検査等に約1年**を要する

## 敷地利用効率

- 大容量タンクと同等

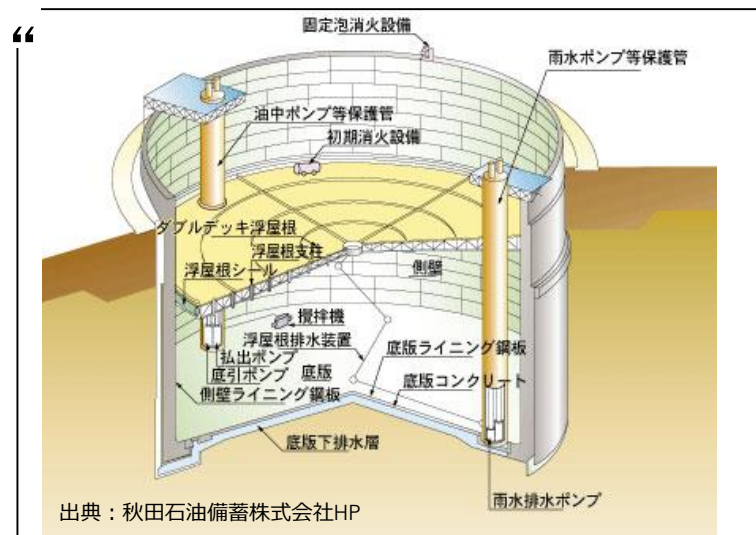
## 漏えいリスク

- 破損した場合、1基あたりの**漏えい量が膨大**
- 地下埋設のため、漏えいの迅速な検知が難しい



富津火力発電所 LNG地下式貯槽

容量：12.5万kL、内径：69m、液深：33.5m



出典：秋田石油備蓄株式会社HP

秋田国家石油備蓄基地 地中式タンク

容量：35.3万kL、内径：97m、液深：48m